

# 巣立ち・旅立ち

## 各校で卒業式

三月、各校の卒業式が、一日の洞爺高校を皮切りに行われ、小学校十一名、中学校三十三名、高校二十名が卒業しました。

三月十八日に卒業式が行われた香川小学校では、来賓、父母、教職員、在校生が見守る中、卒業生となる二名に藤田咲美校長から一人ずつ卒業証書が手渡されました。



香川小最後の卒業証書を受け取る

式辞の中で、藤田校長が「四月からは半分大人として扱われる中学生です。これから、もっとも大切なのは言葉です。言葉の重みを二人には自分の世界をもっともつと広げるために心に留めておいてもらうよう期待しています。」とお祝いの言葉を述べ、二人は、これから始まる中学校生活に期待し、改めて夢をいだいてい



来賓、両親に見送られる卒業生

る様子でした。  
また、平成十八年度には統廃合により四つの小学校が一つになることから、香川小学校、大原小学校では新六年生がいなかったため、最後の卒業式となりました。

## もうすぐ小学一年生 洞爺保育所退所式

三月三十日、洞爺保育所退所式が行われました。

今年、すみれ組の十一人が保育所から各小学校へ巣立っていきました。

保育証書を受け取った子どもたちは、大きくなったら何になりたいかなど、将来への夢を元気に発表していました。

来賓の教育長より「小学校に行けば今まで以上にいろいろな体験をすることになると思います。四月七日からはランドセルに夢と元気を詰め込んで元気にがんばってください」



将来の夢を発表する退所児

とお祝いの言葉がおくられました。

お別れの歌では、思い出のスライドを上映しながら、児童十一人が、『思い出のアルバム』を元気よく歌いました。会場では、成長したわが子の姿に涙ぐむ父母や先生方も見られました。

みなさん、小学校へ行って、も、元気いっぱい、遊びに、勉強にがんばってください。



お別れの歌を元気よく歌う

